

小学校3～6学年 1人1台端末活用スキル初期指導例 【総合的な学習の時間】

*単元の「つかむ」過程で探究活動に必要な端末活用スキルを重点的に体験するための指導例

《単元名》 「目指せ 環境博士～〇〇市（町村）の環境に目を向けて～」



「つかむ」過程

「探究課題と出会い、単元の課題を把握する」

* _____ は、端末活用スキルにかかわる学習活動

【活動場面】

①探究課題と出会う。

・様々な環境問題について、インターネットで情報検索をする。

⇒ インターネット上の
情報検索（タイピング）

・校区内でごみがたくさん落ちている場所や、汚れている場所、きれいな場所等を写真や動画撮影をする。

⇒ 写真・動画の撮影

②単元の課題を把握する。

・ゲストティーチャーから話を聞く。その際に、写真や動画撮影をする。

⇒ 写真・動画の撮影

・撮影した写真や動画のファイルを呼び出し、ペイントソフトを使って必要な部分を拡大やカットなどして、資料を作成する。

⇒ 電子ファイル呼び出し・保存、ペイントソフト操作

・文章作成ソフトを使って、フォントや大きさ、色等を変更・工夫するなどして、原稿を作成する。

⇒ 文章作成ソフト操作

・市や他地域の現状や取組について調べたことをまとめたり、理想と現実を比較したりするために、表やグラフを作成する。

⇒ 表、グラフ作成

・ごみ問題について、解決すべき課題を話し合うための資料をプレゼンテーションソフトを使って作成する。

⇒ プレゼンテーションソフトの作成（*1）

③追究の見通しをもつ。

・設定した単元の課題について、プレゼンテーションソフトを使って仮説を立てるなどしながら、端末上で意見交流をする。

⇒ プレゼンテーションソフトの操作

【スキル】
(例)

「追究する①」過程

「単元の課題に基づき、個人・グループ等での課題を設定し、追究する」

「追究する②」過程

「新たな課題を見だし、継続して追究する」

「まとめる」過程

「単元全体の学習を振り返る」

「追究する①」過程
「追究する②」過程
「まとめる」過程
においても、上記のスキル（例）を活用しながら、学習を進める。

* 1 : 指導例

3, 4年生は、写真を3～4枚程度、プレゼンテーションソフトに挿入する。

5, 6年生は、写真に文字を加えて、プレゼンテーションソフトに挿入する。